

薬師岳・雲ノ平圏谷群高山植物希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・富山森林管理署
所在地	富山県富山市
面積	250.19ha
設定年	平成3年4月1日設定（平成29年4月1日変更）
保護林の概要 （設定目的）	薬師岳の東側一帯には、氷河によってできた圏谷が並び、学術上の価値が高く、その特異な立地条件に特有の希少な高山植物が生育していることから、その個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和2年度
調査項目	森林詳細調査（樹木の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査）、その他の調査等（資料調査・聞き取り調査）
調査手法	登山道沿いを踏査し、保護林内の特異な地形や地質、植生の生育状況等を把握。
結果概要	ハイマツの先端部が茶色く変色して枯れた状態が薬師岳周辺で散見された。登山道及び急峻な地形における強度な雨量等による浸食、洗堀、崩落とともに、保護林内の高山植物やカール内の地形等への影響も懸念される。また、間接的に保護林内に生息する動物の変化への考慮も必要である。特にライチョウ等の生息環境の変化（ハイマツの生息状況を含め）には注意が必要である。今後も保護林モニタリングにより、状況変化を経過観察する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。